

# 小学校国語科における説明的文章の授業開発とその評価

## —論理的に読み、考え、伝え合う学習指導過程を通して—

教育実践高度化専攻  
授業実践リーダーコース  
P11032J  
春木 憂

### 1. 研究の目的と方法

#### 1.1. 研究目的

本研究は、平成20年版小学校学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校国語教育における課題を改善し、論理的思考力育成に資する学習指導過程の構築を目的とする。この目的は、兵庫県や西宮市、現任校の方向性にも合致している。また、論理的思考力育成の手立てとして、論理的思考の指導段階の設定、活用場面としての伝え合う活動を提案する。ただし、広く実践が可能な学習指導過程を目指す。そのために、教科書教材を用いて学習の連続性を重視する。

#### 1.2. 研究方法

本研究では、研究仮説に基づいて学習指導過程を開発し、実験授業Ⅰ・Ⅱを実施する。その結果をもとに分析、検証し、必要に応じて改善する。以下に、研究の手順を示す。

- ①国語科教育を中心とした(論理的)思考(力)、伝え合いについての先行研究分析、それらに基づいた学習指導過程の要件の案出及び分析フレームワークの構築
- ②分析フレームワークに基づく先行実践分析
- ③学習指導過程の開発及びワークシート、論理テスト、振り返りカード、質問紙の作成
- ④実験授業Ⅰ・Ⅱ実施、結果の分析、論理的思考力育成を目的とした学習指導過程の評価、授業仮説及び研究仮説の検証、改善

### 2. 研究仮説

- 国語科の授業において学年に応じた論理的思考の指導段階を設定して指導することによって、論理的思考力を育成することができるであろう。

- 学習指導過程に論理的思考の必然性が意識される場としての伝え合いを設定することによって、論理的思考力を活用することができるであろう。

### 3. 論文の構成

序章

- 第1章 小学校国語教育における論理的思考と伝え合い
  - 第2章 論理的思考力育成を目指した学習指導過程の要件
  - 第3章 論理的思考力育成を目指した授業の実際と分析
- 終章

### 4. 研究の概要

#### 4.1. 小学校国語教育における論理的思考と伝え合い

平成20年版小学校学習指導要領では、思考力は、基礎的・基本的な知識や技能を活用して課題を解決するために必要な能力の一つとして位置づけられている。国語教育においては、言語を媒介として論理的に思考する力が重視される。「論理的思考」という言葉は、論者によって様々な意味で用いられている。小学校学習指導要領解説国語編及び先行研究を踏まえて、本研究では小学校国語教育における「論理的思考」を定義する。

言語を手がかりとして、根拠や理由、主張を明らかにしながら筋道立て、文(命題)と文(命題)との関係及び構造をとらえること、またその考え方

平成20年版小学校学習指導要領解説 国語編によると、伝え合う力とは人間と人間との関係の中で、互いの立場や考えを尊重し、言葉を通して適切に表現したり正確に理解したりする力を指す。小学校学習指導要領及び先行研究を踏まえ、本研究では、小学校国語教育における「伝え合い」を次のように定義する。

音声言語と文字言語とを問わず、言葉を媒介として相互に交流し、意味生成をなす言語活動

伝え合いの場を設定することによって互いに相手が意識され、的確に分かりやすく表現したり正確に理解したりする必然性が生まれる。つまり、論理的に思考することが要求される。論理的思考の学習のためには、活用場面が不可欠である。そして、論理的思考が活用される場面の一つとして、伝え合いが有効なのである。

#### 4.2. 論理的思考力育成を目指した学習指導過程の要件(小学校国語)

学校現場で一般的に行われる説明的文章の授業は、形式的・画一的な学習指導過程で展開されることが多い。本研究では、論理的思考力育成を目指し、説明的文章の授業における課題を解消するために、論理的思考を促す国語科の学習指導過程の要件として次の6点を提案する。

- ① 対象に応じた論理的思考の指導段階
- ② 論理的思考の必然性が意識される場
- ③ 学習の連続性を生かした授業構成
- ④ 学習意欲を高め、論理的思考を促す題材
- ⑤ 論理的思考の活性化を促す指導
- ⑥ 論理的思考の活性化を促す評価

要件①～④に基づく四つの視点を設定した分析フレームワークを用いて、小学校における説明的文章を扱った先行実践24例を分析した。

#### 4.3. 論理的思考力育成を目指した授業の実際と分析

本研究で提案する要件に基づいて説明的文章の学習指導過程を構築し、実験授業をおこなった。

以下に単元の概要を示す。

##### ○ 実験授業Ⅰ

単元名 「自分の考えを明確にしながらかもう」

教材名 「イースター島にはなぜ森林がないのか」

内容 イースター島の森林消失の原因について推理し、伝え合う。筆者の論理、主張を読み取って意見をもち、伝え合う。

##### ○ 実験授業Ⅱ

単元名 「持続可能な社会」への取り組みについて調べよう

教材名 「未来に生かす自然のエネルギー」

内容 持続可能な社会が実現しなかった場合

について推理し、伝え合う。筆者の論理、主張を読み取って意見を書き、伝え合う。

実験授業Ⅰ・Ⅱについて、論理テスト、振り返りカード、質問紙、行動観察を評価資料とし、学習指導過程の要件①～④に照らして分析した。

#### 5. 研究の成果と課題

本研究の成果は、次の3点である。

第1に、論理的思考力育成を目標とする説明的文章の授業における課題を明らかにしたうえで、それらを改善する学習指導過程の要件を示したことである。

第2に、示した要件に基づいた分析フレームワークを用いて先行実践の分析を行った結果を参考に、小学校国語教育の説明的文章教材を扱った学習指導過程を開発、提案したことである。

第3に、本研究で設定した要件に基づいて構築した学習指導過程を実践し、その分析結果から有効性の検証をしたことである。論理テストの結果や振り返りカードの記述、行動観察から論理的に読む、考える、伝え合う説明的文章の学習指導過程が有効であり、研究仮説が支持された。

今後の課題は、次の4点である。

第1に、論理の理解や表現を評価する際に用いる問題文や設問について先行研究を分析し、要件を整理することである。また、「理由づけ」と「根拠」とを明確に区別させる設問が妥当であったかという点についても検証が必要である。

第2に、他の学年を対象とした学習指導過程を開発、実践し、論理的思考の指導段階について検証することである。

第3に、提案した学習指導過程の要件⑤⑥について、理論を整理し、検証することである。

第4に、提案した学習指導過程の6要件が、説明的文章教材以外のジャンルの教材に適用できるか検証することである。

修学指導教員 佐藤 真

伊藤 博之

指導教員 吉水 裕也